



# 横浜市立富岡小学校 学校だより 7月号



<花壇のアジサイ>

梅雨の晴れ間をぬってペア学年による体力テストが行われ、また、創立145周年記念の航空写真撮影が一度延期になった後の6月21日に行われました。校庭のアジサイは、雨の多いこの季節にぴったり。鮮やかな色の花をつけています。教室では、プール掃除の前にヤゴ取りをした2年生の教室やそれを分けてもらった1年生の教室から「トンボが飛んでいる！」と朝から大興奮。季節に沿った生き物の成長を運動場や教室で感じる日々です。

さて、4月5日にスタートした新学期も早いもので夏休みまであとわずかとなります。7月21日より8月26日までの37日間、家庭や地域で過ごす期間となります。学校でも夏休みの過ごし方の指導はいたしますが、家庭や地域でも子どもたちの安全と充実した日々が過ごせますようご協力をよろしくお願いいたします。

## ■スクールゾーン対策協議会 6月22日(金)

路面表示の改修等の要望について検討しました。この日までに学区内の安全点検、調査等で準備いただいたPTA校外委員さん、ありがとうございました。今回の協議会では、通学路上のブロック塀等の安全確認も話題にさせていただきました。最近の国土の地殻変動の状況から安全について気を引き締めているところです。

## ■パラリンピックムーブメントが目指す、共生社会について

6月の学校だよりで「オリンピック・パラリンピック教育実践校」の取組について書かせていただきました。その後、国際パラリンピック協会より学習教材が送られてまいりました。この教材を授業で扱う時の留意点として次のようなことが書かれています。

- ・できないことではなく、できることに注目する
  - ・できないことでも諦めず、どうやったらできるようになるか考える習慣をつける
  - ・物理的、心理的なバリアフリーについて考える
  - ・工夫の結果、一方的にどちらかが有利にならないように考える
  - ・障害があるからできないのではなく、環境が「できないこと」を生じさせていることがあるということを考える
- クラスの中に、何らかの理由で授業に参加することが難しい子どもがいる場合でも、これらの点をふまえ、一緒に授業に参加できるように工夫することが大切であると考えます。そして、教師と子どもたちが、想像力を膨らませ、当事者も含め様々な工夫について話し合うことが、これからの共生社会を作っていく力の基礎になると考えています。

## ■放課後キッズクラブの設置について

横浜市では、小学校施設等を活用して「遊び場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供することを目的に、平成31年度末までに全ての小学校に放課後キッズクラブの開設を順次進めています。本校でもこれまでの「はまっ子ふれあいスクール」から「放課後キッズクラブ」の平成31年3月の開所に向けて準備が進んできています。本校では、法人による運営を目指しており6つの法人による現場見学会が行われました。

今後は、選定会議を経て運営法人が決まる予定です。来年1月頃には保護者利用説明会を実施します。秋には専用ルーム、兼用ルームの整備工事を行います。授業等に支障がでないよう配慮しながら進めてまいります。

## ■地域の方々の力 花壇隊のみなさん「緑化活動」6月8日(金)

梅雨の晴れ間をぬって、3年生と花壇隊の皆さんによって朝顔、百日草、マリーゴールド、サルビア、日日草が第二校舎花壇、給食室前の花壇に植えられました。また、今年は花壇隊の方のアイデアで子どもたちが喜ぶように職員室前の藤棚の下でヒョウタンとヘチマを育てることになりました。子どもたちとともに実がなる植物の成長も楽しみたいと思います。

(校長 菅沼 伸一)